

2026年度

南三陸少年少女自然調査隊

ネイチャー ニュース

Nature News vol.1

## 【オリエンテーションと干潟調査】



日時：令和8年5月2日（土）  
8：30～12：30  
場所：南三陸町自然環境活用センター  
折立海岸  
スタッフ：南三陸ネイチャーセンター友の会  
南三陸高校自然科学部  
南三陸町自然環境活用センター



## 「今年も活動開始！」

今年も調査隊の活動がスタートしました。今年度の隊員は申込みがあった9名、そのうち新規の隊員は3名です。明るさと探求心は変わらずに活動していきますので、よろしくお願いします。

さて、第1回目の活動には7名が参加し、オリエンテーションと干潟調査を行いました。

オリエンテーションでは、自己紹介や今までの活動の説明、ゲームなどでコミュニケーションを深めました。また、今年やりたい活動を聞いてみると、海釣りやシュノーケリングのほか、イルカウォッチングや活動をまとめた絵本作りなど、楽しそうな意見もたくさん出ました。

その後、10時頃に干潟調査のため折立海岸に移動しました。



## 「折立海岸ってどんな場所？」

今回調査する折立海岸は、ネイチャーセンターの目の前に広がる海岸で、折立川の河口付近に位置しています。2015年の復旧工事で今の人工干潟になって以降、約30種あまりの生きものが毎年見つかっています。

昨年の調査では、活動開始から過去最高の約60種の生きものを発見しました。





## 「生きものを見つけるには？」

ネイチャーセンターの拓三ハカセから、生きものを見つける「3つのワザ」を教えてくださいました。

- ① しゃがんで目線を近づける。
  - ② 石の下やすき間をのぞく。
  - ③ シャベルを使って砂の中の生きものを掘り返す。
- この3つのワザで見つけていきます！



## 「調査開始！いっぱい見つけるぞ！」

いよいよ調査スタート！開始前は「昨年よりたくさんの種類を見つけたい」「新種を見つけたい」と意気込んでいました。南三陸高校自然科学部のお兄さん、お姉さんたちと一緒に合計10名で「3つのワザ」を使い、より多くの生きものを見つけようとみんな一生懸命に探しました。



## 「種類や名前を調べてみよう！」

その後ネイチャーセンターに戻って、見つけた生きものの種類や名前を調べました。虫メガネで観察して特徴をとらえ、図鑑も使いながら真剣に確認していました。



## 「どんな生きものが見つかったのかな？」



今回の調査では、全部で51種類の生きものを見つけました。イシダタミ、ホソウミニナ、クモリアオガイ、アサリ、イボニシ、マガキ、ケフサイソガニ、スナイソゴカイ、ヒライソガニなどが見つかりました。

このうち、イシダタミ、ホソウミニナ、クモリアオガイ、アサリ、イボニシ、マガキ、ケフサイソガニは10人中7人以上が見つけた『優占種（ゆうせんしゅ）～折立海岸に多くいる種～』（発見率が70%以上）になります。

中には、絶滅のおそれがある生きものをまとめた、宮城県のレッドリストにのっているツブカワザンショウ（絶滅危惧Ⅱ類）、ヤマトクビキレガイ（絶滅危惧Ⅱ類）も見つかりました。

### 【今後の予定】

☆6月14日（日）アマモの苗植え ☆7月11日（土）八幡川の生きもの調査

※詳細は後日お知らせします。是非ご参加ください。

